

～下記の研究を行います～

『後方侵入腰椎椎体間固定術における骨移植の違いによる骨癒合率の
比較研究』

当院では、以下の臨床研究を実施しております。

【研究課題名】後方侵入腰椎椎体間固定術（PLIF）の骨移植の違いによる骨癒合率の比較研究

【研究の主宰機関】大阪医療センター 整形外科

【研究代表者】青野 博之

【研究の目的】後方侵入腰椎椎体間固定術における骨移植の違いによる骨癒合率の差を明らかにすること

【研究の期間】研究許可日～2023年12月31日

【研究の方法】

●対象となる患者さん

研究許可日～2023年12月31日までに腰椎変性疾患により当科で後方侵入腰椎椎体間固定術を施行された患者さん

●研究に用いる試料・情報の種類

①患者基本情報：年齢・性別・身長・体重等

②疾患情報：術前診断名・術式・手術時間・出血量・基礎疾患・術前後理学的所見・術前後レントゲン検査・術前後CT検査等

●外部への試料・情報の提供

郵送でデータのやりとりを行い、各施設へのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当院の研究責任者が保管・管理します。

●研究組織

研究を実施する全ての共同研究機関及び研究責任者

国立病院機構大阪医療センター 整形外科 青野 博之

国立病院機構岡山医療センター 整形外科 竹内 一裕

【研究の資金源】なし

【利益相反】

臨床研究における利益相反（COI（シーオーアイ）：Conflict of Interest）とは、「主に経済的な利害関係によって公正かつ適正な判断が歪められてしまうこと、または、歪められているのではないかと疑われかねない事態」のことを指します。具体的には、製薬企業や医療機器メーカーから研究者へ提供される謝金や研究費、株式、サービス、知的所有権等がこれにあたります。

本研究は、特定の企業・団体等からの支援を受けて行われるものではなく、利益相反は適切に管理されています。

- ◎本研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
- ◎ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。
- ◎試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。

研究代表者

国立病院機構大阪医療センター

〒540-0006 大阪府大阪市中央区法円坂2丁目1-14

TEL (06) 6942-1331 (代)

整形外科 医長 青野 博之